

岩手県職労

月2回刊=1583号
 2021年7月15日 発行
 発行日 毎月15日30日
 発行所
 盛岡市内丸10番1号
 岩手県庁内
 岩手県職員労働組合
 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4
 有限会社 ジロー印刷企画
 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

業務に見合う人員確保を

任期の定めのない職員枠拡大・任期付職員の任用継続も強く求める

7月12日、県職労は知事あて人員確保要求書を加藤人事課総括課長に提出し、基本姿勢を質すため交渉を行った。要求書には分会基礎調査(中間集計)の結果を踏まえた人員不足の実態を訴え改善を求めた。併せて、任期付職員経験者採用及び任期付職員の処遇改善等に係る要請書を提出し、これまでの県行政の遂行実績と経験を踏まえた人員確保などを強く求めた。

【人員確保】

県職労が実施した分会基礎調査を取りまとめたところ、200人を超える人員不足の結果となった(下表のとおり)。このことから各職場の人員不足の実態を詳細に把握したうえで、業務に見合う適正な人員配置を行うよう求めた。



▲人員確保など強く求め交渉に臨む県職労交渉団



▲見解を示す加藤人事課総括課長(中央)

加藤人事課総括課長は、「振興局を訪問し、現地で直接ヒアリングを行い、それぞれ職場の現状や課題など聞かせていただく。今後とも所管部局や人事委員会と連携しながら、あらゆる手段を講じて確保に取り組む」とした。また、育休代替職員の配置に関し「ワークライフバランス定数は32人の配置」とするも、十分措置されていない実態を訴え専門職種での代替を強く求めた。頻発する自然災害や感染症等への対応を見据えた専門職員の人員確保に対し、これまでの処遇改善の実績を示すにとどまり、今後の

6.26 自治労県本部新採用交流会

コミュニケーションの重要性 地域を超えた仲間と交流



▲グループではジェスチャーゲームで盛り上がった

6月26日に自治労岩手県本部主催の新人組合員・新規採用者交流会がサンセーブル盛岡で開催された。来賓の達増拓也知事から、「コロナで地方自治体の存在感も増している中、働く場として県職員を選んでいただき、お礼申し上げます」と歓迎の挨拶がされた。その後、「即実践で職場が楽しく！社会人基本マナー&コミュニケーション」と題してしゃべラボ代表高橋美佳さんが講演。「人に話を伝える際は見た目やしぐさが一番、続いて声量や話し方、最後に話の内容が大事。身だしなみを整えることはもちろんだが、自分の笑顔や真顔の自撮りを撮って見てほしい」との話がされた。自己紹介について、どういった自分を相手に伝えたいのかを考え、ギャップと数字を意識し、現在・過去・未来について

ただき、お礼申し上げた。その後の、「即実践で職場が楽しく！社会人基本マナー&コミュニケーション」と題してしゃべラボ代表高橋美佳さんが講演。「人に話を伝える際は見た目やしぐさが一番、続いて声量や話し方、最後に話の内容が大事。身だしなみを整えることはもちろんだが、自分の笑顔や真顔の自撮りを撮って見てほしい」との話がされた。自己紹介について、どういった自分を相手に伝えたいのかを考え、ギャップと数字を意識し、現在・過去・未来について



▲歓迎のあいさつをする達増知事

その後の、「即実践で職場が楽しく！社会人基本マナー&コミュニケーション」と題してしゃべラボ代表高橋美佳さんが講演。「人に話を伝える際は見た目やしぐさが一番、続いて声量や話し方、最後に話の内容が大事。身だしなみを整えることはもちろんだが、自分の笑顔や真顔の自撮りを撮って見てほしい」との話がされた。自己紹介について、どういった自分を相手に伝えたいのかを考え、ギャップと数字を意識し、現在・過去・未来について



▲交流会参加者が笑顔で記念撮影

この交流会をきっかけに仲間入りした新採用もいる。つながりを求める若手もいるため、青婦部としても交流の場を作っていきたい。



▲要求書を手渡す大崎中央執行委員長(左)

具体的な改善方策を示さなかったことから、採用予定数に満たない現状を訴え、早期改善を求めた。

【会計年度職員の配置】

事務補助職員の人員不足や短時間勤務の実態から、常勤職員の業務量増加、会計年度任用職員も業務をこめたものの、業務量等を踏

まえ、適正配置との回答に終了した。県職労と当局の「予算に応じた人員数」との認識のズレを指摘したうえで、業務実態を踏まえた職員配置に向けた予算確保こそ行うべきと求めた。

【任期付職員課題】

今年も募集数が少ないことを指摘し、県行政を遂行した実績と経験を生かした採用数確保を求めるとも採用5年未満の任期付職員への希望者全員の任期更新継続を求めた。

【交渉の締めくくり】

【今後の取り組み】

大崎委員長は、人員課題から職場では様々な問題が生じていること、また、退職ボタンの後のサービス残業の実態があることを指摘したうえで、振興局ヒアリングには職場実態を把握する職員と行うよう求めた。支部や評議会議会から、職場課題を集約し現場からの人員要求も重要であることから、引き続き取り組みをお願いする。不適切事案があれば県職労へ実態を。

忘れていませんか？

総合共済では、結婚・出生の祝金、疾病見舞金、死亡弔慰金等の給付をしています。
 特に忘れられがちなのは、「配偶者の親死亡」の申告です。
 事実発生から3年を過ぎると給付が受けられなくなりますのでご注意ください!!

表 2021分会基礎調査中間集計(2021.6.30時点)

| | 岩手県 | | | | | 合計 | |
|-------|-------|------|------|------|------|-----|----|
| | 県庁 | 盛岡広域 | 県南広域 | 沿岸広域 | 県北広域 | | |
| 一般職 | 事務企画 | 3 | 1 | 2 | 1 | 0 | 7 |
| | 事務用地 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 5 |
| | 事務税務 | 1 | 4 | 4 | 1 | 0 | 10 |
| | 事務その他 | 9 | 6 | 9 | 7 | 3 | 34 |
| | 専門土木 | 8 | 5 | 6 | 19 | 3 | 41 |
| | 専門保福 | 0 | 6 | 9 | 10 | 0 | 25 |
| | 専門普及 | 0 | 4 | 5 | 2 | 0 | 11 |
| | 専門企画 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 研究員 | 0 | 6 | 3 | 2 | 0 | 11 |
| | 現業 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| | 専門他 | 0 | 3 | 7 | 3 | 3 | 16 |
| | 旧・非常勤 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 旧・臨時 | 2 | 4 | 4 | 10 | 3 | 23 |
| フルタイム | 0 | 10 | 6 | 2 | 0 | 18 | |
| 合計 | 23 | 52 | 58 | 61 | 12 | 206 | |

第五世代

今年もコロナ禍での豪雨災害の時期となった。熱海での土石流災害は自然災害と開発行為による人災がセットでの災害と報道された。災害の原因が経済活動にあることは非常に悔やまれる。温暖化に伴い災害が激甚化しており、その備えを強化すること自体は喫緊の課題として必要なことだが、並行して人災を防止するためにも経済活動に伴うリスクにも考慮した対策が必要となる。経済活動は憲法が保障する権利だが、生存権が奪われては本末転倒である。そのために各種経済活動にも法規制がある。しかしこの法規制は何でも許されるものではない。憲法の下で慎重に判断すべきものだ。先に東京に4回目の緊急事態宣言が出され、担当大臣が規制に従わない飲食業者への融資をしないよう金融機関に求める発言は憲法の理念と反する。憲法の幸福追求権のもとで人間の生存をいかに保障するか政治に問われている。無観客で東京五輪が開催されるが、平和五輪の理念は活かせるのだろうか。現政権は憲法を踏まえ何を優先すべきか舵取りができないようだ。そうならば新たな舵取りを選択するしかない。



▲職訓協第45回定期総会の様子

6月26日、職業訓練職員協議会第45回定期総会が盛岡市・県公会堂で開催され、

2020年度の運動総括、2021年度運動方針及び役員体制を確立した。開会に当たり、松尾議長は、「人事異動で担当業務が変わり、横のつながりがある組合の大切さを改めて感じる。メンタルヘルスの問題をはじめ相談できる人がいるというのは心強い。指導員の高級職位が限られ、また、年齢層が高くなってきた中、適切な処遇が必要である。引続き団結して待遇面の改善や次期再

職訓協第45回定期総会開催

全員の方で！変えていく！、能開行政の未来！

編に積極的取り組みでいこう」とあいさつ。その後、大崎中央執行委員長が人事院勧告や定年延長など国の動向を踏まえた連帯の挨拶を行った。執行部から、主管室との2度の交渉について報告と今後の職業能力開発行政を見据えた組織活動の強化、自治研活動を中心とした運動方針等が提起された。出席者からは、第11次再編整備計画に関する情報提供、入校生確保の取り組みにつ



▲運動前進を誓い合った団結ガンパロー

いて発言があった。また、同様な課題を有する他県の状況について質問があった。関連な方針補強が行われ活動方針が全会一致で確立された。最後に、松尾議長の団結ガンパローで運動前進を誓い合った。

- 新役員体制は次のとおり。
- 議長 松尾 才治 (宮古高等技術専門学校)
 - 副議長 本間 義章 (産技短水沢校)
 - 副議長 下堀 時男 (二戸高等技術専門学校)
 - 事務局長 福士 誠 (産技短矢巾校)
 - 事務局次長 長門三喜男 (産技短矢巾校)
 - 事務局次長 田中 俊行 (産技短矢巾校)
 - 自治研担当 齋藤 裕之 (産技短矢巾校)



花巻支部は6月25日、2021年度の支部役員選挙結果を公示した。立候補者全員が信任され新体制を確立した。支部長には小野演彦さん

花巻支部が21体制確立

支部長に小野演彦さんを選出

- 〔花巻支部〕
- 支部長 小野 演彦 (総務・審査指導監)
 - 副支部長 佐々木知正 (遠野農林振興センター)
 - 書記長 中川 理恵 (花巻農林振興センター)
 - 書記次長 藤原 茂 (花巻県税センター)
 - 執行委員 千葉 覚 (保健福祉環境センター)
 - 大谷 孝文 (保健福祉環境センター)
 - 内田 愛美 (花巻農林振興センター)
 - 成田 美幸 (県税センター)
 - 藤田 晃 (花巻土木センター)
 - 山崎 善栄 (遠野土木センター)
 - 山本 研 (遠野普及センター)
 - 会計監事 小笠原和仁 (総務・審査指導監)
 - 佐藤 哲也 (花巻土木センター)



臨時書記採用配置 県職労は7月1日付で書記の人事異動発令とともに、6月28日付で新規採用を行った。二戸支部の阿部修一書記を本部へ、二戸支部には臨時書記として松山紀子書記を採用しましたのでご紹介いたします。



◆阿部修一書記(7月1日) 二戸支部から本部へ異動 ◆松山紀子書記(二戸支部) 6月28日採用

7.8 現業評議会・独自要求書提出 完全補充・増員求める

人事課長 土木部運転技士は「必要性を精査」に終始

現業職



▲人事課長と交渉を行う現業評執行部(右)

7月12日、現業評議会(議長・永洞俊司畜産研究所分會)は、今年度の独自要求書を加藤人事課総括課長に提出し、交渉を行った。



▲運転技士増員と守衛の新規採用を求めた管財課(奥)交渉

【①土木部運転技士の在り方】 振興局土木部の所管区域の状況を踏まえた配置必要数、正規配置の必要性、特種車輛の管理の在り方等の検討が必要であり、県土整備部と継続協議中としたうえで、現業評の要望を踏まえ早期に策定できるように検討を進めるとした。交渉団から災害時における運転技士の業務内容、道路等の維持管理業務に不可欠であると訴え、正規の運転技士配置を強く求めた。



▲技能員の定数増を訴えた農林水産企画室(左)交渉

【②管財課運転技士・守衛】 運転技士は今後の業務需要の見通しを踏まえ、管財課と連携して対応すること、今年度再任用満期となる守衛の補充に関しては、守衛業務のノウハウの蓄積の観点からこれまでの敬意を踏まえ管財課と適切に対応するとした。交渉団から運転業務のニーズに応えられない現状にあり増員が必要なこと、守衛業務の



▲県土整備企画室(手前)と交渉を行う現業評執行部

【③技能員の増員】 農林水産部から職場の状況、業務実態を踏まえ対応するとした。交渉団から、勤務ローテーションがギリギリであること、会計年度任用職員の勤務時間減により正規技能員の負担が増大しているとし、技能員の計画的増員が必要と訴えた。

【④賃金改善】 昇給・昇格運用の改善や、特別昇給機会の増に関して、非現業職員との均衡を考慮する必要があるとしたうえで、できる範囲での対応は検討するとした。交渉団から人員不足のなか、モチベーション維持のためにも賃金面での改善が必要と訴え、改善を求めた。

【各主管室課交渉】 県土整備企画室からは各公所2人以上の運転技士の配置が不可欠であるとし、業務実態調査をし、要求を進めることを確認した。管財課からは運転技士17人体制、守衛3人体制の維持の方向を確認しつつ、運転技士増員と守衛の新規採用を求めた。農林水産企画室からは各公所の実態を踏まえ技能員の定数増の要求に取り組み方向を確認した。現業評議会では秋の現業闘争に向けて取り組みを本格化していく。

【胆江支部で定期大会を開催】 「胆江支部定期大会」は7月7日、28人が参加するなか開催された。冒頭、遠藤支部長は、「組合員が声を上げることが重要。声を上げないと何も改善しない。身近な支部活動

「胆江支部で定期大会を開催」 実現のため、支部組織づくりを取り組もう」とあいさつ。その後本部・佐々木書記長から連帯の挨拶を受けた。議事では佐藤書記長から、四支部合同の県南広域振興局長への独自要求と庁公舎等の執務環境改善の支部独自要求の取り組みをはじめ、組織強化の取り組み等の6つの運動方針を提起した。代議員からは、「四支部合同要求の回答に『要求内

【組合員に身近な支部活動を】 胆江支部で定期大会を開催

最後に支部長の「組合員に身近な支部活動の拡大をはかろう！団結頑張ろう」で締めくくり、運動前進を誓い合った。